

# 令和5年度の重点努力事項と具体策

- (1) 主体的に学び、学力を高め視野を広げる児童を育てる。
  - ① 基礎基本の定着と表現力の向上を図る。
  - ② 「令和の日本型教育」やSDGsに応じたカリキュラムの工夫を行う。
  - ③ 読書や家庭学習の習慣化と家庭への啓発に努める。
  - ④ 個々の実態・特性の把握と合理的配慮等に基づくインクルーシブ教育を推進する。
  - ⑤ 学習活動や学校行事に児童が主体的に活動する場を積極的に設定する。

\* 愛鳥モデル推進校、海洋教育パイオニアプログラムの取組
- (2) お互いを認め合い、助け合う児童を育てる。
  - ① M L Aの日常的な実践を図り、心理的安全が確保された学級、学校経営を行う。
  - ② 縦割り活動や学年間の授業交流、異校種間交流を充実させる。
  - ③ 道徳教育や志教育の充実を図る。
  - ④ 気持ちのよい挨拶や美しい歌声など、普遍的価値をもつものを尊重する学校風土を醸成する。
- (3) 心身ともにたくましく健康な児童を育てる。
  - ① 自分の命、自分の体は自分で守る意識と知識を高める。
  - ② 学校生活の中に日常的に体を動かす遊びや運動を取り入れ、健康な身体を育むとともに、学習に耐えうる体力や心の強さを培う。
  - ③ 望ましい生活習慣（早寝早起き朝ごはん、メディアとの付き合い方等）への意識を高める。
- (4) 地域と共に安全・安心で活力ある学校をつくる。

<「コミュニティ・スクール」初年度>

  - ① 地域での活動を積極的に行い、体験や人との触れ合い等から生まれる気付きや課題意識を学習に生かす。
  - ② 中学校、こども園・保育所との合同活動や交流を推進する。
  - ③ 学校の取組を積極的に発信する。
  - ④ 防災への取組や感染症対策を家庭、地域とも情報共有する。
- (5) 教師の資質向上と研修の充実を図る。
  - ① 児童が主体的な学びを通して基礎基本を身に付ける授業改善、教材開発に努める。
  - ② 教師自身が自己課題やキャリアステージに応じた資質向上のための研修を積極的に  
行う。
  - ③ I C Tを児童の学習と業務の効率化に生かす方法を実践を通して探る。
  - ④ 教材研究や児童に向き合う時間の確保のための働き方改革を一層推進する。